

大成ロテックから

木材保護塗料を開発

耐久性は2—3倍

大成ロテックは、大成建設、フェクト（岡山県津山市、安

い無機系材料を使用すること
で従来品の2—3倍程度の耐実現を目的として、使用が契
励されているが、耐久性の免
で課題を抱えている。有機塗
料系の保護塗料では、塗料自
体の紫外線劣化により2—3
年程度で塗り直す必要があっ
た。りや刷毛塗りができ、乾燥時
間は夏季で1—2時間、冬季
でも5—6時間で同日内に2
回塗りができるため、施工時
間は短くなる。さらに、劣化
状況に応じた塗り重ねも容易
にできる。田海人社長）と共同で、高耐
久木材保護塗料「モッコート」
を開発した。トンネルの壁面
コンクリートの耐久性向上に
使用されている無機塗料を木
材向けに改良した。施工性に
優れており、紫外線などに強久性を確保した。半透明の材
料であるため外装木材本来の
風合いを邪魔せず、顔料の変
更だけでさまざまな色での着
色を実現できるため意匠性に
も優れている。モッコートは、この塗替え
サイクルを2—3倍程度に長
期化できるほか、木材特有の
損傷であるかびや色合いの変
化についてもかび抵抗性や耐
候性を備えている。施工は従
来の材料と同様にローラー塗3社は今後、モッコートを
木橋や木製高欄などを使用し
た橋梁、木材を使用する学校
や庁舎などの公共建築物をは
じめ、オフィスビルや店舗な
どの新築・リニューアルに広
く展開していく方針だ。

近年、木材は低炭素社会の